



かがやき



学校教育目標： 確かな学力と豊かな人間性をもち、自ら伸びる子どもの育成

自ら学ぶ

認め合う

元 気

コミュニティ・スクール特集

《No.9》 令和7年12月1日

地域とともに成長する 神杉小学校

本校は、今年度からコミュニティ・スクールを本格実施しています。そもそも、コミュニティ・スクールとは？に加えて、今年度のこれまでの本校の取組について、特集でお伝えします。

コミュニティ・スクールとは・・・

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会を設置した学校を言い、学校と地域住民などが力を合わせ、子どもたちのより良い環境づくりに取り組む「地域とともにある学校」を目指すための仕組みです。学校運営協議会は、地域住民や保護者などから構成されます。

地域の声を活かし、学校と地域が一体となって「特色ある学校づくり」を進めていきます。

コミュニティ・スクールがめざす姿

(1) 学校、家庭、地域の連携・協働により、未来を担う子どもの成長を育むコミュニティ・スクールづくり

学校運営のビジョンを学校、家庭、地域が共有し、子どもの成長を地域全体の課題として取り組む仕組み

(2) 地域の特色を活かしたコミュニティ・スクールづくり

学校と地域の特色を活かした仕組み

(3) 持続可能な学校運営に向けたコミュニティ・スクールづくり

教員が異動しても、安定した協議の中で持続可能な仕組み

(4) 地域学校協働本部との一体的なコミュニティ・スクールづくり

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部が、相互にパートナーとして支え合う仕組み

(5) 学校、家庭、地域がつながる、学校を核としたコミュニティ・スクールづくり

学校を核とした新たなコミュニティ創出の仕組み



塩町中学校校区で育てたい力（資質・能力）

主体性

協働性

表現力



本校では、今年度、学校と地域の特色を生かした仕組みづくりの1つとして、神杉地区の3大行事である「神杉大田植」「神杉地区合同大運動会」「神杉ふれあい祭り」に学校行事として参加し、重要な学びの場に位置付け、全校で取り組みました。

そして、3つの行事への参加を通して、子どもたちにもどのような学びがあり、どんな力が身に付いてきているのか、児童の振り返りとしてまとめたものを紹介します。



神杉大田植

【主体性】

練習では、なかなか腰をあげるなどが難しくてできなかったけど、本番は腰を上げるタイミングをつかむことができた。(5年生)

【協働性】

となりの人と協力して植えた。
自分の植える場所以外で植えていないところを探して、やってもらったり、教えてもらったりして協力のした。
みんなで協力できるようになった。
(3年生)



【表現力】

最初は恥ずかしがっていたし、あまり声を出していなかったけど、「手を伸ばして、大きな声を出す」という目標で、恥ずかしがらず大きな声を出すことを何回も練習したからできた。だから、生活の中でも声を出していきたい。例えば、返事をしたり発表する時、みんなに聞こえるように話したりする。(4年生)

神杉地区合同運動会

【主体性】

○半分くらいは大きい声が出せた。自分の中の70%は出せたが、次は、もう少し大きい声を出したい。(4年生)
○鍵盤ハーモニカを置いたら、すぐに自分の位置について、1年生に並ぶように声をかけた。
(5年生)

【協働性】

○1・2年生と移動の時、息を合わせることもできた。協力してとてもよいダンスになった。
(3年生)
○本番のリレーで3回くらいバトンミスがあったけど「ドンマイ、大丈夫よ。」と、声掛けができた。
(5年生)

【表現力】

○恥ずかしい時もあったが、練習に比べて、ダンスの動きが大きくなった。(3年生)
○しっかり練習をし、ダンスを間違えずにきれいに見ている人にアピールできた。(4年生)



……プログラム11番、5・6年生VS地域の方との綱引きでは、引き分けになる三試合目まで突入した。三試合目は、先生方も全員参戦して、本気で勝負し、ギリギリで勝てた。全員が限界突破していなかったら、勝てていなかった気がする。試合が終わった後の地域の方とのハイタッチで、地域の方とつながった感じがした。(6年生の作文から)

神杉ふれあい祭り

【主体性】

○自分から難しそうと思うものにチャレンジした。やってみる、見通しを持って目当てを達成できるように間に合わせる、自分で自分を伸ばすなど主体性がついた。1学期よりも、とてもレベルアップして比べられないほどアップしたから、これからもその力を伸ばしていきたい。(4年生)

【協働性】

○みんなと声をかけ合い神杉の良さを伝えることができた。前を向いて、はっきりと言えた。(5年生)
○音楽を聴いて、みんなの声も聞きながら発表できた。(3年生)

【表現力】

○大きく動けたし、銭太鼓のばいを落としても、気にせず続けられたのでよかった。(3年生)
○伝えたいという思いがあったから、今までで一番大きな声で発表できた。
(6年生)

